

知っているようで知らない？  
子どものミカタ！見守り隊の話



# 特集 みんなで守る“安全の輪”

登下校時に子どもたちを守る「見守り活動」を見かけたことはありますか。  
地域のボランティアの皆さんは、日常に潜む危険からどうやって子どもたちを守り、  
どんな思いで活動しているのでしょうか。  
まずはその姿を知り、地域の温かい輪に触れてみませんか。



## 子どもの安全な登下校を見守って20年 「子ども安全見守り隊」発足のきっかけ

関西では過去に、学校への侵入や登下校中の子どもが被害に遭うなど、子どもたちの安全が脅かされる痛ましい事件が相次ぎ、地域全体で子どもを見守ることの大切さが改めて認識されるようになりました。

こうした状況を受け、平成17年2月には府より各小学校への警備員配置が進められる

とともに、地域ボランティアによる「子ども安全見守り隊」の立ち上げ支援が示されました。

市でも、学校や地域団体の皆さんとともに取り組みが進められた結果、平成17年末までに市内全ての小学校区で「子ども安全見守り隊」が設立され、現在も地域の皆さんによる温かい見守り活動が続けられています。



データで  
知ろう!

# 子どもの見守りの必要性

子どもたちの身近にはどんな危険が潜んでいるのでしょうか。

データをもとに交通事故や声掛け事案の現状を解説し、見守り活動の重要性を考えます。

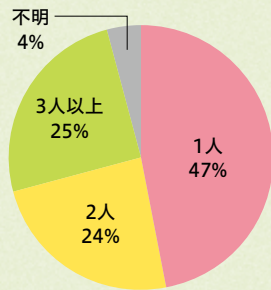
府データ

## 声掛け事案

誘拐や性犯罪の前触れとして捉え、  
注意を払いましょう。

### 被害発生時の人数<sup>※1</sup>

(令和7年/対象は13歳未満)



1人でいる時に  
最も声を掛けられている

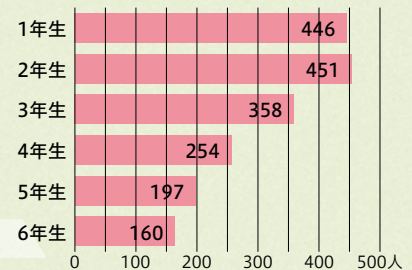
全国データ

## 交通事故

まだ危険を予測する力が弱い  
小学生は特に注意が必要です。

### 歩行中の交通事故死者・重傷者数<sup>※2</sup>

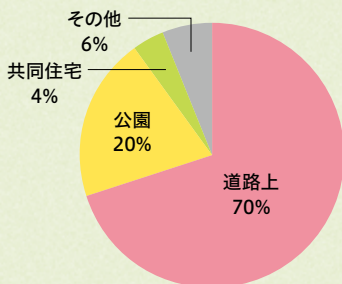
(令和2年～6年の合計)



低学年(1・2年生)の  
人数が多い

### 被害発生場所<sup>※1</sup>

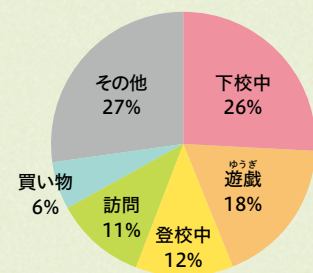
(令和7年/対象は13歳未満)



「道路上」での被害が  
7割近くを占める

### 小学生の交通事故、通行目的別死傷者数<sup>※2</sup>

(令和2年～6年の合計)



死傷者数のうち38%が  
登下校中によるもの

見守りの空白地帯をなくし子どもの安全を確保するため

## 「地域の力」が不可欠です!

※1出典:府警察 ※2出典:令和7年交通安全白書

## こども110番の家

登下校中の子どもたちがトラブルに巻き込まれるケースが増え、安心して通える環境づくりが求められています。

市では、平成9年11月から「こども110番の家」運動に取り組んでいます。

通学路沿いの家庭や店舗に貼っているステッカーや旗を目印に、子どもたちが「困ったときに駆け込める場所」を地域の中に広げています。地域の皆さんで子どもたちを見守り、支えていく活動です。



## 青色防犯パトロール

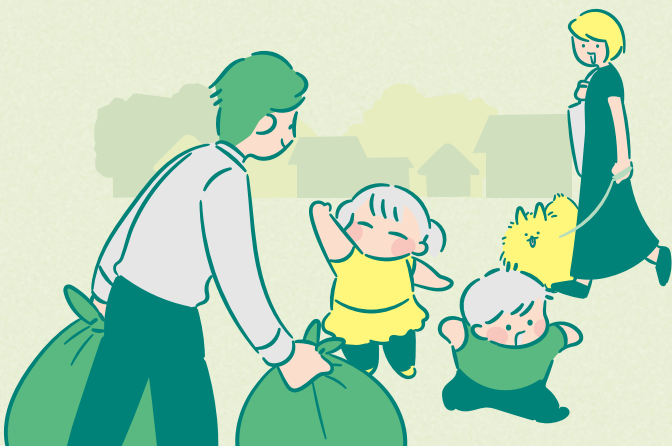
青パト活動は、青色回転灯を点灯することで、犯罪を未然に防ぐ効果があります。広い範囲を効率よく見守ることができるのも大きな特徴です。



## 地域の皆さん

小学生の登下校の見守りは、日常の中のささやかな行動によっても支えられています。ごみ出しや掃除、洗濯物を干すといった普段の生活の中で外に目を向けることが、子どもたちの様子を気にかける機会となり、自然な見守りにつながっています。

人の目がある環境は、不審な行動を起りにくくし、地域全体の安心感を高める効果が期待できます。



# 地域での 取り組み

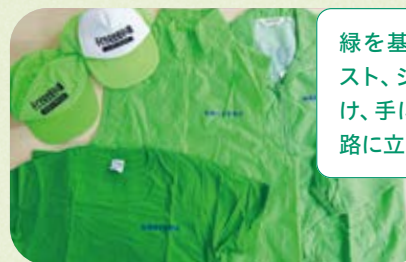
これらの活動は、地域全体で子どもたちを育み、守ろうとする気持ちを育てる大切な機会です。皆さんの協力のおかげで保護者も安心して子どもたちを学校に送り出すことができ、子どもたち自身も安全に登下校できる環境が整っています。



## ボランティアによる見守り活動

小学校の登下校時には、見守り隊だけでなくPTAや自治会の皆さんなど多くの方が、子どもたちの安全を見守りながら、温かく声を掛け、交通状況にも気を配っています。

この活動は地域の安全に大きく貢献していると、四條畷警察署から感謝の言葉が寄せられています。



緑を基調とした帽子やベスト、ジャンパーを身に着け、手には旗を持って通学路に立ってくださっているよ



▲子ども安全見守り隊の装備品

## 見守り隊に聞きました！



### 活動を始めたきっかけ

防犯委員になったことが見守りのきっかけでした。今では、この活動が毎日の規則正しい生活リズムを保つ助けになっています。「子ども安全見守り隊」に参加することで、自分の生活にもメリハリが生まれ、気持ちが引き締まるのを感じます。

### 子どもたちの笑顔がやりに

活動を通じて子どもたちの元気な姿を見ることや、見守り仲間に

会えることが一番のやりがいです。見守り隊は地域の皆さんとの交流の場にもなっています。一緒にボランティアへ取り組む友人たちとのつながりは、今の私にとってかけがえのない大切なものです。

### 一緒に活動しましょう

最近では、体力的な理由で活動から離れる人が増え、さらに代わりとなる新しい担い手が集まらないという問題があります。無理のない範囲で大丈夫です。一緒に子どもたちを見守りませんか。

活動歴20年

四条北見守り隊  
角屋さん



MIMAMORI COLUMN

こんな活動も！

## 子ども安全見守り 隊員の研修

学校や地域によっては警察などと連携した研修の実施もあります。

活動の際に心掛けることや注意すべきポイント、交通事故防止のためのアドバイスなどを警察官から教わるすることができます。安心して活動を行うための知識や心構えを身に付けられる研修です。



活動中の不安など警察に直接相談ができます！



毎日の登下校を安全に！子どもたちの元気な笑顔と一緒に見守りませんか

## 子ども安全見守り隊員募集



子どもたちの「いきます」と「ただいま」を、地域で見守りませんか。毎日、通学路に立ち、子どもたちに声を掛ける見守り隊の皆さん。その温かいまなざしは、子どもたちにとって大きな安心となり、地域全体の安全を支えてきました。

しかし近年、担い手の多くが高齢となり、体力的な負担な

どから活動を続けることが難しくなり、やむを得ず見守りを離れる人が増えています。

通勤前の少しの時間や、散歩の合間など、できる範囲で構いません。無理のない形で、子どもたちの見守り活動に参加しませんか。

## 見守り活動Q&A

**Q** 時間が限られているのですが協力ができますか？

週1回・30分から無理のないペースで参加できます。

**Q** 参加するには何かスキルが必要ですか？

特別なスキルは必要ありません。大人の目の届かない死角が少しでも減るよう協力をお願いします。

**Q** トラブルに巻き込まれないか不安です…

見守り活動は皆さんの安全が第一です。無理な対応は避け、警察や学校と連携して行います。市でボランティア保険にも加入しています。